## 千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第49週 (12/5-12/11) の発生は?

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数 49週 48週 47週 46週 17 小児科 18 17 18 眼科 5 5 5 5 上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 インフルエンサ 27 27 27 28 基幹定点 1 1 1 1

「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数

定点	感 染 症 名	Ŧ		葉		千葉県	
		注意報	12/5-12/11	11/28-12/4	11/21-11/27	11/14-11/20	
J.		江忌和	49週	48週	47週	46週	48週
小児	RSウイルス感染症		1	0	0	0	39
	に3・ノイルへ忽朱延		0.06	0.00	0.00	0.00	0.30
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	5
	心或和疾然		0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
	A 群液布料 L 2. 44 基本四醇 y		2	8	1	4	29
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  		0.11	0.47	0.06	0.22	0.22
	感染性胃腸炎	0	107	74	79	62	606
	放朱江月栃女	O	5.94	4.35	4.65	3.44	4.70
	水痘		1	0	0	0	12
	/ <b>八</b> /		0.06	0.00	0.00	0.00	0.09
科	手足口病		4	6	3	3	37
1-7			0.22	0.35	0.18	0.17	0.29
	伝染性紅斑		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	突発性発しん		6	4	5	10	20
			0.33	0.24	0.29	0.56	0.16
	ヘルパンギーナ		2	0	1	3	9
			0.11	0.00	0.06	0.17	0.07
	流行性耳下腺炎		2	0	3	0	9
			0.11	0.00	0.18	0.00	0.07
イン	インフルエンザ		0	1	4	1	19
フル	(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0.00	0.04	0.15	0.04	0.09
	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
眼科			0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
	流行性角結膜炎		1	1	2	0	11
			0.20	0.20	0.40	0.00	0.32
基幹定点	クラミジア肺炎		0	0	0	0	0
	(オウム病を除く)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	細菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎	_	0	0	0	1	0
			0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
	<b>感染性胃腸炎</b> (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	★★·流行中 ★·やや流	· 行中	加 ○・やや堆	)加 →·麥化	なし. し・やく	を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	減少

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 901 例 ※ 新型コロナウイルス感染症895例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	40歳代	病原体の検出等	後天性免疫 不全症候群	男性	40歳代	血清抗体の検出
カルバペネム耐性 腸内細菌科	男性	50歳代	細菌の分離・同定、 薬剤耐性の確認				
腸内柵園科 細菌感染症	女性	70歳代	条削制性の確認 及び起因菌の判定	梅毒	男性	60歳代	血清抗体の検出
劇症型溶血性	男性	70歳代	病原体の分離・同定	新型コロナウイルス感染症	男女	0-100歳代	病原体遺伝子の検出等
レンサ球菌感染症				_	ı	-	-

・第49週は、結核1例(137)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2例(19)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(5)、 後天性免疫不全症候群1例(2)、梅毒1例(49)、\*新型コロナウイルス感染症895例(148,787)の発生届があった。

<sup>※ ()</sup>内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

<sup>※</sup> 新型コロナウイルス感染症の発生届数は、届出対象の見直しにより、9/26(第39週)から65歳以上及び入院を要する者等の4類型及び死亡した患者(当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。)に限定されています。

## 定点当たり報告数 第49週のコメント

## <感染性胃腸炎>

前週よりやや増加し5.94となった。過去10年の同時期と比べると少なく、2歳で最多。区別の発生状況は、若葉区 (19.00)で最多で、同区の3歳で最も多く発生報告があった。

- 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。
- ・ 過去10年との比較グラフ

https://www.city.chiba,jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf

区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph\_ward2022.pdf